

WestminsterLab 

Pre-Amplifier

Quest

取扱説明書

株式会社ブライトーン

目次

| | |
|-------------------------|----|
| お使いになる前に | 3 |
| はじめに..... | 4 |
| 安全にお使いいただくために..... | 5 |
| 安全にお使いいただくために（続き） | 6 |
| 接続..... | 7 |
| 各部の名称..... | 8 |
| 接続手順..... | 11 |
| オプションモジュール..... | 12 |
| 操作方法..... | 13 |
| トラブルシューティング | 15 |
| 最高のパフォーマンスを得るためには..... | 18 |
| 仕様..... | 19 |
| FAQ | 20 |
| お手入れ..... | 21 |
| アフターサービス | 22 |
| 保証規定..... | 23 |
| 保証書 | 24 |

お使いになる前に

本体及び付属品のご確認

万一、製品内容に不足や損傷がありましたら、
お買い上げになった販売店または弊社へご連絡下さい。

次の内容物が揃っていることを確認下さい。

| | |
|------------------------|-------|
| ○WestminsteLab Quest | : 2 台 |
| ○WestminsterLab 電源ケーブル | : 1 本 |
| ○リモートコントロール | : 1 台 |

取扱説明書（本書）

保証書（取扱説明書に印刷されています）

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないで下さい
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、
温度が高くなる場所に置かないで下さい。
また、アンプなど、熱を発生する機器の上には置かないで下さい。
- 安定した場所に置いて下さい。

はじめに

この度は WestminsteLab Quest をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
います。

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよくお読み頂き、本製品を末永くご
愛用下さい。





お読みになった後は、いつでも見られるところに製品の保証書と一緒に、本書を大
切に保管して下さい。

なお本製品は厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、お買い上げ後お気づき
の点がございましたら、お早めにお買い上げ頂いた販売店または弊社までお問い合わせ
下さい。





-
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しております。万一、記載内容に誤りな
どお気づきの点がございましたら、大変お手数ですが、弊社までご連絡をいただ
ければ幸いです。
 - ・ 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますの
で、あらかじめご了承願います。
 - ・ 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読み下さい。

| | |
|--|--|
|  | <h3>警告</h3> <p>以下の内容が無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。</p> |
|  <p>電源 プラグを 抜いて 下さい</p> | <p>万一、異常が起きたら</p> <p>煙が出たり、変なおいや音がするとき 機器の内部に異物や水が入ったとき この機器を落としたり、キャビネットを破損したとき 直ぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。 販売店または弊社に修理を依頼して下さい。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしな 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など） 販売店または弊社に交換を依頼して下さい。</p> <p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜 いてから、ゴミやほこりを取り除いて下さい。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。 また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないで下さい。火災・感電の原因となります。</p> <p>機器の上に花瓶や水の入った容器を置かない 内部に水が入ると故障の原因となります。</p> |
|  <p>分解禁止</p> | <p>この機器の外装は絶対に外さない 外装を開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は、販売店または弊社に依頼下さい。</p> <p>この機器の改造をしない 火災・感電の原因となります。</p> |

安全にお使いいただくために（続き）

| | |
|---|--|
|  | <h3>注意</h3> <p>以下の内容を見逃して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</p> |
|  強制 | <p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する それ以外の物を使用すると故障、火災・感電の原因となります。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする</p> <p>入力切替スイッチを切り替えるときは、音量は最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、直ぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</p> |
|  禁止 | <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ず電源プラグを持って抜いて下さい。</p> |
|  電源 プラグを 抜いて 下さい | <p>移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。</p> |

接続



接続時の注意

以下の内容を無視して誤った取扱いをした場合、本機および接続しているオーディオ機器などの動作不良や故障の原因となります。

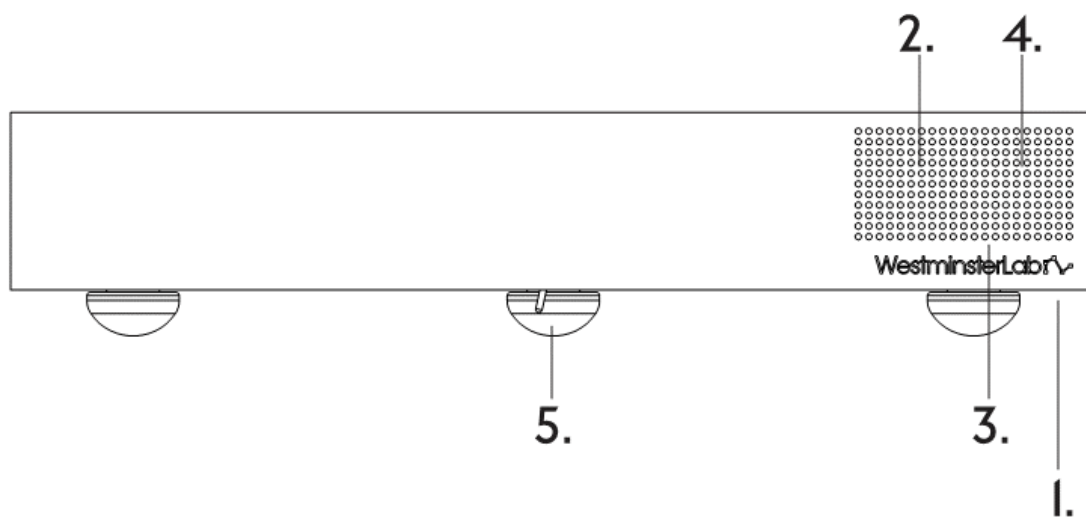
全ての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込むこと

- ・ 必ず AC100V の壁コンセントに差し込む。
- ・ 接続には端子形状（仕様）に合ったケーブルを使用する。
- ・ 本器のアナログ出力と他機のデジタル入力を接続しない。
- ・ 電源を ON にする前に、接続するアンプの音量レベルは最小にしておく。
- ・ 接続する機器の『取扱説明書』に従って接続する。

各部の名称

Pre-Amplifier Quest

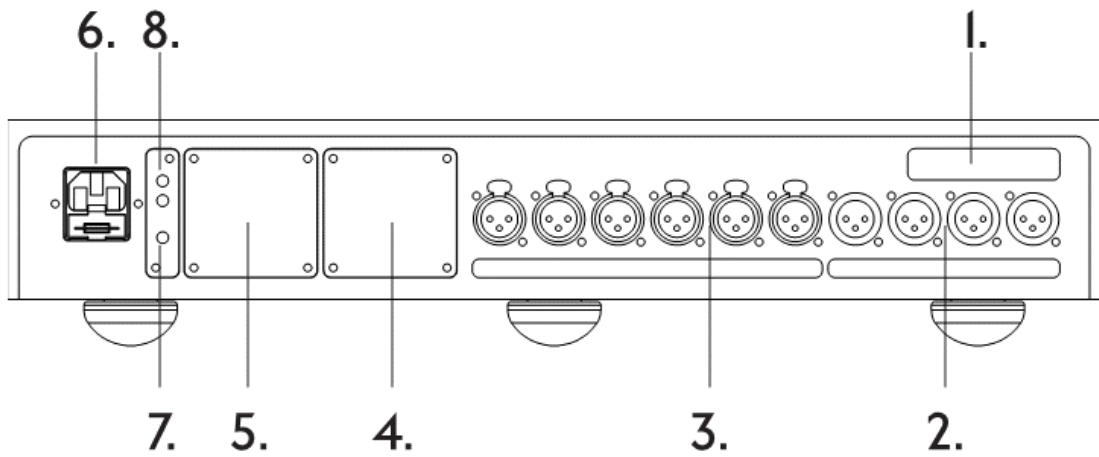
本体：前面



- 1 LED インジケータ
- 2 ボリューム表示
- 3 赤外線センサー
- 4 入力ディスプレイ
- 5 グランドモード切替

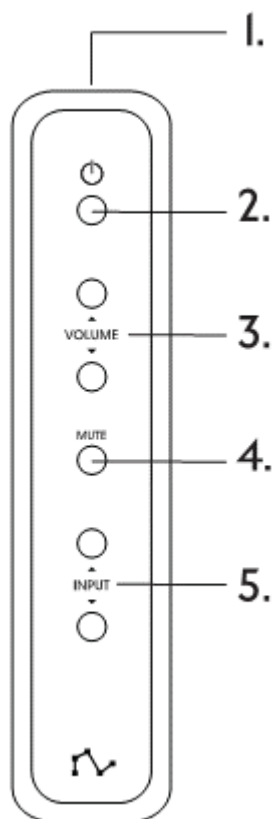
Pre-Amplifier Quest

本体：後面



- 1 ユニットシリアル番号及び電圧仕様
- 2 XLR 出力ソケット
- 3 XLR 入力ソケット
- 4 オプションベイ 1 (インプット 4)
- 5 オプションベイ 2 (インプット 5)
- 6 電源インレット
- 7 スタンバイ LED
- 8 デュアル 12V トリガー出力 (オプション)

リモートコントロール

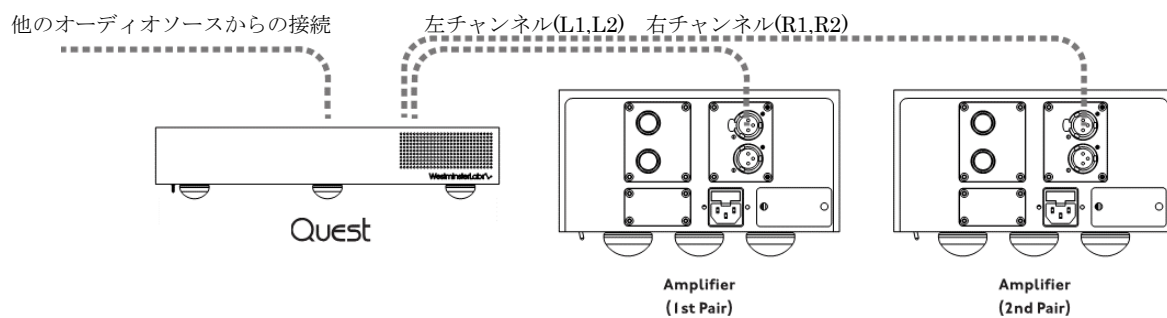


- 1 赤外線ポート
- 2 電源オン/オフスイッチ
- 3 ボリュームコントロール
- 4 ミュート/ミュート解除
- 5 入力切替

※リモートコントロールの電池は **CR2032** です。
交換の際はマイナスドライバーで起こして外してください。
商品サイトに交換動画が掲載されていますので
参考にしてください。

接続手順

1. Quest とアンプ間は XLR ケーブルを使用してください。



オプションモジュール

○はじめに

Quest には 2 つのオプションのモジュール/拡張カードベイが組み込まれています。

操作に関しては、入力 4 および入力 5 として表されます。 WestminsterLab または公式の正規販売代理店およびディーラーから購入したモジュールのみをユニットに取り付けるようにしてください。

サードパーティまたは認定されていないモジュールは、元に戻せない損傷をもたらす可能性があります、保証も無効になります。

○インストール

オプションのモジュールは、ほとんどのユーザーが簡単にインストールできるように設計されています。 ご不明な点がございましたら、遠慮なく WestminsterLab の販売代理店および販売代理店にご連絡いただき、サポートを求めてください。

操作方法

1. プリアンプの初期電源投入時

電源を入れる前に、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

入力ケーブルまたは出力ケーブルの欠落または緩みは、プリアンプ、アンプ、およびスピーカーに障害や不可逆的な損傷を引き起こす可能性があります。

ソースからの RCA 接続を使用する必要がある場合は、Quest 用のオプションの RCA 入力モジュールが組み込まれていることを確認してください。

電源コードを接続すると、ユニットの背面にある赤色のスタンバイ LED が点灯します。リモコンをプリアンプの前面に向け、リモコンの電源ボタンを 1 回押して、ユニットの電源を入れます。

ボリュームディスプレイには 00 が表示され、入力ディスプレイには数値 1 が表示され、入力 1 が現在アクティブであることを示します。アンプのスイッチを入れて、ソースで何かを再生します。リモコンのボタンを使用して入力を選択し、音量をゆっくりとリスニングレベルまで上げます。Quest は、電源を入れ直したときに最後に選択した入力を復元することに注意してください。設計上、音量は常にゼロから始まります。

電源投入後、プリアンプが最適な動作状態になるまで約 30 分かかります。Quest は最初から優れたサウンドで出力しますが、ウォームアップするとさらに音質が向上します。

私たちが受け取ったフィードバックでは、少なくとも 200 時間のバーンインが推奨されています。

2. プリアンプの動作時

Quest は通常の操作中に調整する必要はありません。音が出ない、または音質が悪い場合は、本書の「トラブルシューティング」をご覧ください。

動作中は絶対にケーブルを抜かないでください。Quest、アンプ、スピーカーの故障や破損の原因となります。ケーブルを抜く前に、Quest がオフになっていて、前面に LED 照明がないことを確認してください。他のケーブルを抜く前に、AC 電源コードを抜く方がさらに安全です。

3. グランドモード選択

Quest の下部にあるトグルを使用すると、ユーザーは Quest が動作しているグランドモードを選択できます。ユニットに採用されている動的グランド技術により、ユーザーは Quest のグランド動作をその場で切替できます。

デフォルトでは、トグルスイッチはモード 1（右へ倒れた状態）にあります。

モード I は、グランドの点で攻撃性の低いモードであり、世界中のほとんどのシステムで優れた結果が得られるはずです。モード II（左側へ倒した状態）は、音楽により多くのボディ、テクスチャ、速度、およびマイクロダイナミクスをもたらしますが、一部のシステムではわずかに多くのノイズをもたらす可能性もあります。

トラブルシューティング

○Quest の電源が入らない

背面の赤い LED が点灯しない場合は、以下の手順に従ってください。

電源が入った場合は、他のステップは無視してください。

AC 主電源電圧がアンプの仕様と一致しているかどうかを確認してください。一致しない場合は、AC 電源コードを接続しないでください。

アンプが完全に損傷する可能性があります。

必ずアース線を接続した電源コードを使用してください。

- ① 壁のコンセントから電力が供給されていることを確認します。
- ② AC コードが壁のコンセントに差し込まれていることを確認します。
- ③ Quest の背面をチェックして、電源コードがアンプの背面にあるソケットに完全に押し込まれていることを確認します。
- ④ 電源コードを抜き、ヒューズが飛んでいないか確認します。同じタイプと定格のヒューズと交換してください。
- ⑤ 家庭用電気ボックスをチェックして、ブレーカーが落ちていないことを確認します。ブレーカーが落ちていた場合はオンに戻します。
- ⑥ ブレーカーを再び作動する場合は、電源コードに損傷がなく、正常に機能することを確認してください。電源コードは他の家電製品と一緒に使ってみて確認してください。電源コードが機能しない場合は交換してください。
- ⑦ これらの手順のすべてで Quest に電力が戻らない場合は、販売店にサービスを依頼してください。

○背面の赤い LED が点灯し、前面ディスプレイが点灯しない

ユニットの背面にある赤い LED は、ユニットがコンセントから電力を受け取り、ユニットが現在スタンバイ状態にあることを示します。

リモコンの電源ボタンを押すと、ユニットの電源がオンになります。

WestminsterLab のロゴの後ろにある白い LED と、Quest の前面にある両方のディスプレイの電源がオンになります。

- ① Quest の電源ケーブルを完全に取り外し、再度接続して、アンプの電源を完全に入れ直します。
- ② リモコンの赤外線ポートをクエストの正面に直接向けていることを確認してください。赤外線ポートとレシーバーは両方とも非常に接続性が高く設計されていますが、最高のパフォーマンスを得るには、目で方向を確認してください。
- ③ リモコンの電池が消耗していないことを確認します。携帯電話のカメラを使用して、リモコンの赤外線ポートを観察できます。ボタンを押すと、赤外線ポートのちらつきが見えるはずです。リモコンの下部にあるネジを外すと、リモコンの 2 つの CR2032 ボタン電池を交換できます。
- ④ これらの手順ですべてうまくいかない場合は、販売店にサービスを依頼してください。

○前面のLEDとディスプレイ点灯しているが、音が聞こえない

最初にアンプのスイッチを切ります。次の手順を順番に実行してください。

音が聴こえた場合は、他のステップは無視してください。

- ① Quest で正しい入力を選択されているかどうかを確認します。
- ② 音量が適切なレベル（10～20）となっており、ミュートされていない（-）かどうかを確認します。
- ③ システム内の全てのケーブルをチェックして、正しく接続されていることと、ケーブルが損傷したり短絡したりしていないことを確認します。
- ④ ソースデバイスとパワーアンプをチェックして、両方がオンになっていることを確認します。
- ⑤ ソースデバイスをチェックして、信号出力があることを確認します。レコードプレーヤーの場合は、回転してトーンアームが下がっていることを確認します。CDプレーヤーの場合は、一時停止ではなく再生モードになっていることを確認します。コンピューター/ネットワークストリーマー/ファイルプレーヤーのファイル再生を確認します。
- ⑥ ソースデバイスとプリアンプの間、およびプリアンプとアンプの間で使用されているケーブルの代わりに、別のペアのケーブルを使用してみてください（安価なケーブルでも一時的に機能します）。これで音が回復する場合は、欠陥のあるケーブルを交換してください。
- ⑦ 別のスピーカーケーブルを使用してみてください（安価なケーブルでも一時的に機能します）。必要に応じて、WBT バインディングポストの透明なプラスチックリングを取り外します。これで音が回復する場合は、欠陥のあるケーブルを交換してください。
- ⑧ これらの手順をすべて実行してもサウンドが復元されない場合は、販売店にサービスを依頼してください。

最高のパフォーマンスを得るためには

1. 硬く、安定した、重量のある場所の表面に置きます。
2. 45～60分以上ウォームアップします。
3. **Quest** をソースにできるだけ近づけ、ケーブルをできるだけ短くします。ソースケーブルの長さを最小限に抑えることが望ましいです。最高のエクスペリエンスとパフォーマンスを得るには、**WestminsterLab** 電源ケーブルをお勧めします。
4. 100V 専用 AC 電源コードを使用することをお勧めします。最高のエクスペリエンスとパフォーマンスを得るには、**WestminsterLab** 電源ケーブルをお勧めします。パワーコンディショナーやリジェネレーターも **Quest** にはお勧めしません。

仕様

WestminsterLab Quest

| | |
|---------------|-----------------------|
| 歪み率 | <0.0001% @ 1kHz |
| SN比 | >120dB, unweighted |
| 入力 | バランス XLR 3 オプション 2 |
| 入力インピーダンス | 51k Ω |
| 入力電圧 | 6Vrms |
| 周波数特性 | 2Hz to 100kHz, 0.1dB |
| 出力電圧 | 12Vrms |
| チャンネルセパレーション | >120dB |
| ゲイン | 6.5dB |
| ボリュームコントロール範囲 | 0 to -63dB / ミュート |
| 寸法及び重量 | W470 x H110 x D392 mm |
| | 13.2kg |

※仕様は予告なく変更することがあります

お手入れ



Quest は、クリーンに保つ以外に、ユーザーによるメンテナンスは必要ありません。非常に柔らかい布を使用して、液体や溶液を含まないようにアンプの表面をそっと拭くことをお勧めします。最高の外観を維持するために、表面に油やグリースが付着しないようにしてください。アンプの表面を傷つけないように注意してください。

アフターサービス

この商品には保証書を付属しております。
お買い上げの際に、販売店で所定事項を記入してお渡しします。
記載内容をお確かめの上、大切に保管して下さい。

保証期間はお買い上げ日より3年間とさせていただきます。

保証期間中は、次ページの保証規定に基づいて管理致します。
また、保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により
有料にて修理させていただきます

ご相談の際は、次のことをお知らせ願います。

◎機種名

WestminsterLab Quest

◎故障情報を出来るだけ詳しく教えて下さい

◎ご購入年月日

保証規定

1. 保証期間内に「取扱説明書」に従って本機を取り扱っていたにもかかわらず、不具合（故障、損傷など）が生じた場合には、無償修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に無償修理をお受けになる際には、製品及び「保証書」（「取扱説明書」に添付しています）をご提示の上、お買い上げ販売店または弊社までご連絡下さい。
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ① 保証書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - ② 保証書記載事項の文字を書き換えられていた場合。
 - ③ 保証書のご提示がない場合。
 - ④ 取扱い上の不注意または故意によって生じた本機の不具合（故障、損傷など）。
 - ⑤ 他の機器で生じた障害、落下などの影響によって本機が受けた不具合（故障、損傷など）。
 - ⑥ 本機の不当改造または修理によって生じた不具合（故障、損傷など）。
 - ⑦ 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、異常電圧などによって本機が生じた不具合（故障、損傷など）。
 - ⑧ 自然消耗による部品などの交換に掛かる部品代、技術料および付属品の交換で発生する代金。
 - ⑨ 出張修理を伴う場合に要する実費。
4. この保証規定は日本国内のみ有効です。

This warranty is valid in Japan.

この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社にお問い合わせください。

保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の適正なご使用にも関わらず不具合（故障、損傷など）が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。

本書をご提示の上、お買い上げ店、または弊社に修理をご依頼下さい。

◎ご販売店へのお願い 太枠内の所定事項をご記入・捺印の上、必ずお客様へお渡し下さい。

◎お客様へのお願い 購入日がわかる書面（領収書、納品書等）と本書を提示して下さい。

| | |
|----------|--|
| 保証期間：3年間 | |
| MODEL | WestminsterLab Quest |
| お客様 | ご住所（〒 - ） 都・道・府・県 |
| | お電話（ - - ） |
| | お名前 |
| ※お買い上げ日 | 年 月 日 |
| ※販売店様 | 店名 （販売店印） |
| | 所在地 |
| | 電話（ - - ） |

※販売店様をご記入願います。

問い合わせ先

株式会社ブライトーン

Bright Tone Co. Ltd.

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田一丁目2番3号

早稲田大学アントレプレナーシップセンター12室

hp:<https://www.bright-tone.com/>

mail : info@bright-tone.com

tel : 03-6869-0516
